



理事会だより

3月 定例理事会

3月28日

令和3年度決算報告について

●協議事項

- 職員給与規程の一部変更について
- 育児休業等に関する規程および関連規程の一部変更について
- 職制規程の一部変更について
- 総代会開催要領及び提出議案について
- 不良債権の処理の方針について
- 会計監査人の監査報酬について
- 当組合におけるリスク評価書について
- 有価証券等の保有目的区分規程の廃止および余裕金運用規程の一部変更について
- 余裕金運用等にかかるリスク管理手続の一部変更について
- 特定農業協同組合承認申請および余裕金運用規程の一部変更について
- 貸出金について

●報告事項

- 令和3年度内部監査結果について
- 監事監査規程の一部変更について
- 期末手当支給について
- 令和4年度会計監査人について
- 総代会事前説明会日程について
- 組合員数の報告について
- 勤続20年職員表彰について
- 資産自己査定の結果について
- 令和3年度下期相談・苦情等の受付及び対応について
- 令和3年度下期事務ミス等の報告について
- 令和3年度農協組合員表彰について
- 農政対策について
- 令和3年度第4四半期余裕金運用実績について
- 登録金融機関に係る自主点検について
- 常勤役員が決裁した員外への新規実行案件について
- 燃料高騰対策について

3月 JAの概要

・組合員数	《正》4,407人 《准》6,030人
・貯金	1,134億3,727万円
・貸出金	328億3,651万円
・共済	137万7,400ポイント
・購買	2億8,238万円
・販売	3億3,820万円
・茶市場	0万円
・緑茶加工	3,610万円
・出資金	7億7,853万円
・固定資産	45億 314万円

JA東京スマイルは こ・ん・な・と・こ・ろ

東京都葛飾区に本部を置き、足立区・葛飾区・江戸川区・江東区（一部）を営業地域としています。平成13年4月、江東三区にある3JA（JA足立、JA葛飾、JA江戸川）が合併し、JA東京スマイルが誕生しました。



DATA

令和4年3月31日現在

組合員数	正組合員数	4,841名	合 計	14,299名
	准組合員数	9,458名		

青 壮 年 部 ・ 女 性 部	青壮年部	137名	女性部	294名
-----------------	------	------	-----	------

生産者組織連絡協議会

足立花卉部会	19名	葛飾直売部会	64名
足立直売部会	50名	江戸川直売部会	34名
葛飾さつき愛好会	19名	江戸川区農業経営者クラブ	144名
葛飾契約野菜出荷組合	13名	江戸川花卉園芸組合	41名

小松菜が 特産農産物

年間の収穫量 4,022t

JA東京スマイル管内の小松菜の収穫量は、東京都内でもトップクラス。江戸川区をはじめ、足立区や葛飾区でも一年を通して生産され、市場へと出荷しています。ほかにも、キャベツ、エダマメ、トマトなどが栽培されています。



岩手県JA江刺に次いで2JA目

JA掛川市 JA東京スマイル 連携協定書調印式

「地上」「家」の光榮に
協定を結びました
しゅわん
連携を深めし
しゅわん

JA掛川市と JA東京スマイルが連携協定

3月下旬、JA東京スマイル本部ビル会議室で連携協定書調印式が開かれ、両JAの役員、都・県中央会職員ら17名が出席。農業、人材育成、地域振興についての連携や、災害時の相互支援などで協力することを誓いました。

1 農業・人材育成・地域振興に関すること
2 災害発生時の相互支援に関すること
3 農畜産物の相互販売に関すること

今回の協定は、JA掛川市の松永大吾組合長とJA東京スマイルの眞利子伊知郎組合長が知り合いだったことがきっかけとなりました。二人は、平成12年に家の光発行の「地上」の企画で行われた座談会で出会いました。その後もお互いの栽培作物を通じて20年以上交流を続け、眞利子組合長の組合長就任を機に今回の締結に至りました。

災害発生時の相互支援や農産物の相互販売などを目的に、JA東京スマイルとJA間交流並びに連携協定を結びました。相互交流を通じて、組合員の営農活動や生活の向上を目指し、活力ある地域社会の形成と発展に取り組みます。



協定のきっかけとなった「地上」2000年8月号。農家夫婦にとって、パートナーシップとはなにか？をテーマに座談会をしました。



JA役員や職員、都・県中央会職員ら17名が出席しました。